

本郷中央地区



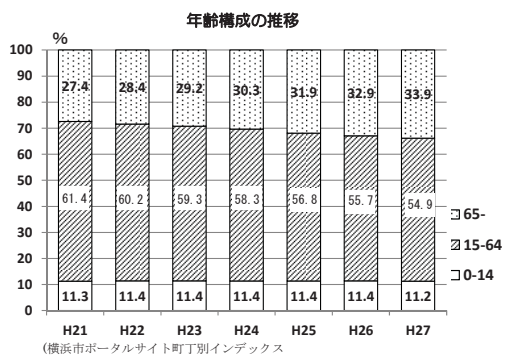
地区の概要

本郷台、港南台の2駅を最寄り駅とし、バス利用により大船駅を利用することもできます。
 南側の荒井沢市民の森など豊かな自然が残されており、丘陵地の住宅地では地区計画や建築協定により住環境が保全されています。また北端の区役所近辺には公共施設が点在し利便性が高い地区となっています。
 13の町内会自治会で構成され、約7,100世帯(H28.1.1)が加入する規模が大きな地区です。

課題など

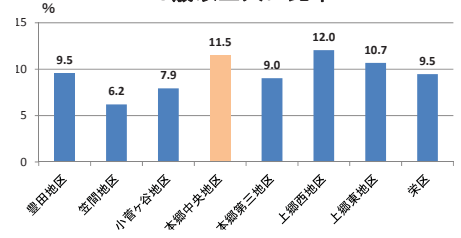
- ・地域の中で、様々な活動や取組が行われているが、地区が広く、他町内会自治会へ情報が伝わりにくく、共有しづらい。
- ・戸建て、集合住宅など住居形態が様々であり、それぞれに合った取組の方法を検討する必要があります。

地区別の統計データ



14歳以下の年少人口にあまり変化はみられず、15～64歳の生産年齢人口の減少、65歳～の高齢人口の増加が顕著です。また、75歳以上の後期高齢者の割合も高くなっています。

75歳以上人口比率



策定経過

取組主体：本郷中央地区支えあい連絡会

【本郷中央連合町内会自治会(13町内会自治会)】

コープ野村湘南本郷台自治会、コープ野村本郷台自治会、フローラ桂台自治会、朝日平和台自治会、桂台団地自治会、公田町団地自治会、公田ハイツ自治会、椎郷台町内会、湘南ハイツ自治会、桂公田町会、桂台自治会、湘南桂台自治会、グリーンテラス本郷台自治会

【本郷中央地区各種団体】

地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、青少年指導員協議会、スポーツ推進委員協議会、保健活動推進委員会、シニアクラブ連合会、消費生活推進委員会

【桂台地域ケアプラザ】

開催の状況(平成26・27年度)

総会：平成26年4月26日、平成27年4月25日
 幹事会・作業検討会：平成26年度18回、平成27年度18回
 協働福祉フォーラム「第3期地域福祉保健計画の策定に向けて」：平成27年2月22日
 第3期地域福祉保健計画(案)検討会・自治会アンケート：平成27年11月21日

こんなまちにしたい

○13町内会自治会がつながり、一体感を持って、情報を共有、話し合え、支え合いのできるまち
 例えば… 各町会をウォーキングで巡るイベントの開催、町内会自治会訪問など

こんな地域です！

40年近く続く連合の運動会 “ミニリンピック”

4自治会合同の桂台まつり

障害施設のメンバーさんも楽しく参加

“学校橋”

地区の中心を流れる “いたち川”

公田小学校の金管楽器演奏

桂公田神明社の“睦会”

600人の参加者による敬老のつどい

祝 本郷中央地区敬老のつどい

本郷中央地区

顔の見える関係づくり

～世代間(タテ)・隣近所(ヨコ)のつながり～

テーマ	課題	将来像(目標)
超高齢社会の安全・安心 論点1、3、7	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なところで高齢者がいきいきと過ごせる場を増やす必要がある。 ・介護の必要な高齢者が増え、負担が大きくなっている。 	高齢者が、健康でやりがいをもって社会、人とのつながりの中で活躍している。
安心感のある子育て 論点2、3、7	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化により、世帯では課題を解決できなくなり、周りとのつながりもうすくなっている。 ・社会環境の変化により、こどもの食育の重要性が高まっている。 	地域の人と関わりをもちながら、地域の中で安心して子育てができる。
福祉の側面からの防災対応 論点4、7	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識の継続が難しい。 ・多様な災害への備えが十分とはいえない。 	災害時の動きの確認が繰り返し行われ、いざという時への備え、行動を各自が理解している。
福祉(生活困窮者の支援・障害者が安心してくらしらせる) 論点5、6、7	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での障害理解を継続して進めていく必要がある。 ・生活困窮の実態が表面化しづらい。 	理解が進み、当事者自身が声を出しやすく、誰もが安心して暮らしている。
持続可能なしくみづくり 論点7	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期計画の中で再編した支えあい連絡会をさらに機能させていく。 ・エリアが広く、町会数も多いため、情報が行き届きにくく、ネットワークが弱い。 	推進、実行、チェックが確実に行われ、地区内が一体感をもち、情報交換、共有が活発に行われている。

取組内容	取組体制(案)	セーフコミュニティ
<p>◆健康寿命を延ばす取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ体操などみんなができる体操を取り入れる ・身近なところで健康づくりができるようにする ・やりがいにつながる活動を広げる <p>◆身近なところでの見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換ができる場を増やすことで見守りにつなげる。 ・SOSの出し方、捉え方の工夫など ・認知症の理解を広める <p>◆参加型のイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども関連イベントの充実と、情報発信 ・子どもの体験、経験の場をつくり、地域の人たちとふれあう機会をもうけ、親子のふれあいを増やす <p>◆食育の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育キャラバンにより、若い親、子どもと知り合い、人材育成につなげる <p>◆体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供、共有、啓発(フォーラムやグループ・団体への出前講座など)を繰り返し行う <p>◆備え＝安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認の方法について、ルール化を進める ・避難場所等への表示(のぼり旗等)を推進する ・「ちょこボラ」(家具転倒防止など)の展開 <p>◆場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に参加できる小中学生対象の学習支援 <p>◆手をあげやすい風土づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ちょっと気遣い、そつと見守り」を浸透させていく ・受入体制づくりをすすめ、当事者が発信するきっかけをつくる <p>◆第3期計画を推進、実行、チェックする体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支えあい連絡会の中に部会をもうける ・年度ごとの検証(振り返り等)を行う <p>◆広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集、発信、受け手の意識啓発 ・既存の広報誌(地域交流プログラム等)の活用 ・各種出前講座の活用 	<p>本郷中央地区 支えあい連絡会</p> <p>【支えあい連絡会 構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13町内会自治会 ・地区社会福祉協議会 ・民生委員児童委員 ・青少年指導員 ・スポーツ推進委員 ・保健活動推進員 ・シニアクラブ ・消費生活推進員 ・地域ケアプラザ <p>※取組の推進は、「支えあい連絡会会員」と各種団体、個人が協力して進めます。</p>	<p>全対策、自殺予防対策、防犯対策</p> <p>スポーツ・余暇安全対策、高齢者安</p> <p>子ども安全、交通安全、暴力・虐待予防、スポーツ・余暇安全</p> <p>災害安全対策</p> <p>自殺予防対策</p>